英検Jr.のご案内

英検Jr. の求める未来
～グローバル人材育成のために～

世界で通用する英語を身に付けるために、
小さいころから英語の耳を鍛えることはとても大切です。
英語がコミュニケーションツールの一つになると、
世界の人々と交流できる喜びや楽しさが生まれます。
英検Jr. はオールリスニングのテストや教材を通して、
広い世界で活躍する子どもたちの未来を応援します。

「英検Jr.」の大きな特長 ～親しみを広げる育成型リスニングテスト～

英語を聞いて○を付けるだけ
英語学習の入門期に最も大切と考えられている、リスニング力を測る形式のテスト。答えは、英語を聞いてそれに合ったイラストなどに○を付ける簡単な方法です。

イラストはオールカラー
全ての問題に子どもの興味を引くイラストが描かれています。楽しい感覚で取り組むことができ、人物や背景をしっかり把握して答えることができます。

合否がない「育成型」テスト
子どもに「できた！」という喜びを実感させ、そのことが学習の動機付けになるように、成績は合否は付けないで「正答率」で表し、進級の目安も添えて通知します。

バラエティーに富んだ出題
子どもの身の回りの事柄を3つのグレード（レベル）に合わせて多様な形式で出題。ヒントを聞いて答えを推測する、なぞなぞのような問題もあり、子どもはゲーム感覚で力試しができます。

全国規模で実施
受験者は全国のさまざまな環境で英語を学んでいる子どもを対象としており、テストは全国規模で実施されることから、客観性の高い成績データが得られます。年齢や学習年数が同じ受験者の平均値も分かります。

「チャレンジコーナー」も
「自分のことを聞いてほしい！」―子どもたちの気持ちを大切に考えて、自分の考えや印象に基づいて答える、主観問題を使った「チャレンジコーナー」を設けました。（※正答率には反映しません）

小学校の外国語活動を考慮
英検Jr.は、小学校外国語活動の「コミュニケーションを図ろうとする態度の育成」や「音声や基本的な表現に慣れ親しむ」などを考慮して作られていますが、特にBRONZEは英語が初めての子どももチャレンジできるように初歩的な内容を出題しています。

テストは3つのグレードで

BRONZE（初級）
おおよそのレベル
英語の音やリズムに慣れて、初歩的な語句や簡単な表現を聞いて分かる程度。

学習経験の目安
英会話スクールなどでは半年～1年程度、小学校の英語活動は1年半～2年程度。（学習年数はおよそ週1回50分のレッスンを受けている場合）

出題内容・問題数・テスト時間
毎日の生活で行っていること、身近なできごと、遊びや動物など興味のあること、家族・先生・友人との交流など。

40問・約30分

SILVER（中級）
おおよそのレベル
簡単な表現を聞いて質問に答えたり、簡単な文章のだいたいの内容が分かる程度。

学習経験の目安
英会話スクールなどでは1年～2年程度、小学校の英語活動は2年～3年半程度。

出題内容・問題数・テスト時間
BRONZEの事柄に加えて、身近な社会生活のできごと、初めて会う人や外国人との交流、学校で習うことや課外活動をすることなど。

45問・約35分

GOLD（上級）
おおよそのレベル
簡単な表現を聞いて質問に答えたり、簡単な英会話や文章の状況を判断して大切なポイントが把握できる程度。

学習経験の目安
英会話スクールなどでは2年～3年程度、小学校の英語活動は3年半～5年程度。

出題内容・問題数・テスト時間
SILVERの事柄に加えて、日本や外国の身近なできごと・行事・文化、夢や将来のこと、ボランティアなどの活動、物語や架空のことなど。

50問・約45分

英検Jr. ウェブサイトのご案内

https://www.eiken.or.jp/eiken-junior/

音声付きのサンプル問題を英検Jr.ウェブサイトでお試しいただけます。

※「英検Jr. ペーパー版」は公益財団法人 日本英語検定協会が、株式会社教育測定研究所に運営を委託しております。

ほめて励ます ―REPORT CARDとCERTIFICATE！

REPORT CARD（個人成績表）とCERTIFICATE（成績証明書）は受験者全員に送付します。

REPORT CARD（個人成績表）

1 ステップゾーン
ここを一つの目安にして「次のグレードに進む」、あるいは「もう一度同じグレードにチャレンジする」などのように、次回の受験や学習について子どもを明るく励ますことができます。がんばったら、さらに上の目標を目指していけるようにという「育成型テスト」の考え方に基づいています。

2 英検CSEスコア
国際標準規格のCEFRと関係性を持たせたユニバーサルなスコア尺度です。英検各級との共通スコア表示で、今の実力とポジションが一目で分かります。英検CSEに関する詳細は英検ウェブサイトをご覧ください。
https://www.eiken.or.jp/cse/

※REPORT CARDのデザインは今後変更になる場合があります。 サンプル

3 テスト分野と理解度
出題領域の一要素である「出題のねらい」（テスト分野）について、語句、会話、文章、文字の4分野別に報告します。それぞれの問題がどの「分野」に重点が置かれ、そのねらいをどの程度理解しているのかが分かります。また、年齢と学習経験年数が同じ受験者の平均値も示しますので、全国の受験者と比べることもできます。

4 ジュニアルファのマメ知識
英検Jr.のキャラクター「ジュニアルファ」が、日本と外国の文化の違い、簡単な英語表現、面白い"雑学"などを毎回紹介します。

5 次へのステップ！！
テスト結果についての総合的なコメントです。どこが良くできたのか、どんな学習をすればもっと良くなるのかなどを分かりやすく解説します。できたところを褒めて、子どもたちが意欲を持ち続け、英語を学ぶことが楽しみになることが英検Jr.の大きな願いです。

CERTIFICATE（成績証明書）

受験結果を証明する「CERTIFICATE」（成績証明書）を受験者全員に発行します。CERTIFICATEは英文で書かれた"威厳のある"デザインになっていて、3つのグレードの金・銀・銅のメダルシールは受験者が自分で貼れるように、別に用意されています。

※CERTIFICATEのデザインは今後変更になる場合があります。

サンプル

先生方の声…
- この証明書をもらうことが、子どもたちにはとても大きな励みになっています。
- CERTIFICATEを渡すときは思いきり褒めてあげます。これが本人たちの励みになり、英語への関心を高めるきっかけにもなります。
- 一人一人英語で読み上げて手渡しするときの子どもたちのうれしそうな表情が楽しみですね。

英検Jr.「優秀賞」

BRONZE・SILVER・GOLDの各グレードで、成績が正答率100%の受験者に「優秀賞」を授与しています（「オンライン版」を除く）。優秀賞は、英検Jr.のねらいにもある「英語への親しみや興味・関心を持ち、積極的に英語でコミュニケーションをすることを楽しむ」考えに沿って、子どもの英語学習の動機付けを高めることがねらいです。この賞により、より多くの子どもが英語を好きになり、チャレンジを続けるように願っています。

テストの実施

テスト日時
申込責任者が指定します。

受験資格
制限はありません。隣接した2つのグレードを同時に受けることもできます。

申込方法
表紙の「教室用申込用紙」に記入して、受験料と一緒に決められた日までに、申込責任者に提出してください。

テストの形式
各グレードとも全てリスニングテストです。筆記試験はありません。

テストで用意するもの
HBの黒鉛筆またはシャープペンシルと、消しゴム。

成績の通知
CERTIFICATE（成績証明書）とREPORT CARD（個人成績表）を、申込責任者を通して、テスト日の約1カ月半後にお届けします。
※他に各グレードで正答率100%の受験者に「優秀賞」を授与します。

●英検Jr.は、2013年度第1回から出題時のデータに基づき、過去に出題した問題も活用することで、精度の高いテストを提供しています。